



2024年5月16日

株式会社アドバンスト・メディア

## 取手市議会・取手市と「音声テック関連技術連携協定」締結

AI 音声認識と生成 AI を活用したソリューションの提供など、

官・民が連携して行政事務の効率化を促進

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）と、茨城県取手市議会・取手市は、2021年4月から3年間締結していた「音声テック関連技術連携協定」を、時代の変化に即したものに発展させるため協定内容を見直し、2024年4月1日から2025年3月31日の1年間、新たに協定を締結しました。

また新たな締結に伴い、アドバンスト・メディア、取手市議会、取手市それぞれの代表が、これまでの取り組みや今後の展望を語り合う対談を5月1日に実施しました。



「5月1日に開催された対談の様子」

左から取手市議会議長 岩澤信、アドバンスト・メディア取締役 大柳伸也、取手市長 中村修

「音声テック関連技術連携協定」は、アドバンスト・メディアが提供するAI音声認識などの技術により、取手市議会が取り組む「デモテック（＝デモクラシー×テクノロジー）※戦略」をより充実させるとともに、議会をはじめとする行政事務の効率化などに関するICT化への技術開発に取り組む目的で、2021年4月～2024年3月31日までの3年間締結していました。

## ■ 協定締結の背景と目的

取手市議会事務局では、2006年3月からAI音声認識 AmiVoice を搭載した議事録ソリューションを導入し、経費削減を図りつつ、議会議事録をはじめ、各種会議録作成事務の迅速化を進めてきました。

2021年から3年間締結した「音声テック関連技術連携協定」の期間内においても、生成 AI(ChatGPT)をはじめ ICT や AI 技術は革新的な進化を遂げ、取手市でもシステムの活用を図り、行政事務の効率化、技術開発、自治体初の「議会会議録視覚化システム」による議論の可視化、聴覚障がい者への配慮を共に進めてまいりました。

今回、3年間の連携協定をさらに時代に即した形へと発展させ、未来に向かって機器やソフトウェアの課題を見出して解決するため、官・民が連携してそれぞれの知見を発揮し、行政事務の効率化を図ることを目的として、新たに1年間の協定を締結することが決定しました。

## ■ 対談について

5月1日に実施した対談は、取手市長の中村 修（なかむら おさむ）、取手市議会議長の岩澤 信（いわさわ しん）、アドバンスト・メディア取締役の大柳 伸也（おおやなぎ しんや）の代表3者で、「音声認識・生成 AI 技術で変革～官民連携で実現する未来の自治体&議会～」をテーマに開催しました。

AI 音声認識 AmiVoice を搭載した議事録ソリューションの利用による業務効率化、取手市の障害福祉課窓口への音声表示ディスプレイの設置や、生成 AI の活用による議事録の要約など、前回の協定期間中の取り組みや成果についての振り返りを行いました。さらに、AI 音声認識の窓口業務へのさらなる活用、生成 AI 技術の活用など、新たな協定期間における今後の展望についても話し合いを実施しました。



対談の様子

3年間の前連携協定を振り返った評価について、以下のように対談の中で述べました。

**アドバンスト・メディア大柳：**議事録作成支援や議会だよりの作成など、市役所全体で我々の技術を活用した行政業務の効率化に貢献できたと感じております。協定を結んだ際には想定していなかった生成 AI の利用に関しても、市役所、市議会の多大なる協力によって積極的な取り組みを行うことができ、深く感謝しております。

**中村市長：**議場カメラシステムの更新や、生成 AI、AI 音声認識など全職員が利用できる環境整備、障害福祉課への文字表示パネルの設置など十分に満足しています。また、我々が抱えている課題を改善し、さらに生成 AI の活用は全国的にみても成功しており高く評価しています。

**岩澤議長：**3年前の締結の際は、コロナ禍で議会が招集できず苦労していた時期でした。そのような中、会議録視覚化システムや発言の字幕表示、発言の要約など、協定に基づき様々な取り組みを行うことができ、議会にとっても実りのある3年間だったと感じています。

## ■ 協定内容概要

添付参考資料をご参照ください。

### 【取手市 コメント】

今後の1年間で生成 AI・AI 音声認識を発展的に活用し、市民生活の向上、さらには市役所業務の効率化と質の向上を目指し、3者で連携を取りながら協力をしていきたいです。また、AI の技術は進歩しつづけているので、積極的に活用し先進的な取り組みができるようにしていきたいと思います。

取手市長 中村 修（なかむら おさむ）

### 【取手市議会 コメント】

3年間アドバンスト・メディアとさまざまな取り組みを行い、その中で出た課題などに対して熱心に取り組んでいただきました。生成 AI や AI 音声認識の技術の進歩、人間と AI が手を携える時代が到来したと感じています。生成 AI には課題もありますが、3者で協力しながら生成 AI を使った文書作成などに取り組んでいきたいと思います。

取手市議会議長 岩澤 信（いわさわ しん）

### 【アドバンスト・メディア コメント】

新たな取り組みをご一緒できることを嬉しく思います。この3年間は取手市役所・取手市議会の方々の働き方改革の実現を中心に組み込んでまいりましたが、今後は取手市民の方々に対しても、我々の AI の技術を活用していただき、生活面での利便性向上などに多大なる貢献を行っていきたくと考えております。

アドバンスト・メディア 取締役 大柳 伸也（おおやなぎ しんや）

アドバンスト・メディアは、今後も取手市・取手市議会と連携を強化し、AI 音声認識 AmiVoice や生成 AI を活用した行政事務効率化に関する技術開発・提供・検証に取り組んでまいります。

※ICT や AI 技術、テクノロジーを活用した多様な主体の参加と集合知により、民主主義をアップデートしようとする運動のことで、Democracy（民主主義）に Technology（技術）を掛け合わせ、「DemoTech（デモテック）」という造語で称したものです。

以上

### 【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L : <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立 : 1997年12月

資 本 金 : 69億3031万円（18,392,724株）（2023年9月末現在）

事 業 内 容 : ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」  
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」  
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate

「音声認識市場動向 2024」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

**【本件のお問い合わせ】**

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : <a href="mailto:press@advanced-media.co.jp">press@advanced-media.co.jp</a> ・ TEL : 03-5958-1307	VoXT (ボクスト) 事業部 ・ E-mail : <a href="mailto:voxt-info@advanced-media.co.jp">voxt-info@advanced-media.co.jp</a>

## 【参考資料】2024 年度締結「音声テック関連技術連携協定」締結内容詳細

株式会社アドバンスト・メディアが有する音声認識等の技術により、行政事務効率化をはじめ議会の運営・事務に関し、ICT 化への技術開発に向けて、私たち官・民が連携する協定を締結します。

### ① 音声認識及び生成 AI による要約機能を要した議事録ソリューション（「ProVoXT for LGWAN（プロボクスト フォー エルジーワン）」、「AmiVoice ScribeAssist（アミボイス スクライブアシスト）」等）の提供

株式会社アドバンスト・メディアは、取手市（取手市議会）に対し、音声認識及び生成 AI による要約機能等を有した議事録ソリューションを提供することで、市役所内の議事録作成等に関する業務効率化の検証を行います。

### ② 生成 AI を要したソリューションの提供

株式会社アドバンスト・メディアは、取手市（取手市議会）に対し、生成 AI を活用したソリューション（文書や挨拶文、議会答弁書素案等の作成、アイデア出し等）を提供することで、市役所内の業務効率化及び向上の検証を行います。

### ③ 本会議・委員会等発言内容リアルタイム字幕表示機能の検証

取手市（取手市議会）は、株式会社アドバンスト・メディアが有する本会議・委員会等各種会議発言内容リアルタイム字幕表示機能を検証し、市民や傍聴者への字幕表示がより精度が高く実施できるシステムの構築を目指します。

### ④ 文字データ要約関連機能の検証

取手市議会・議会事務局は、株式会社アドバンスト・メディアが有する文字データの要約関連機能を検証し、現在、議会事務局職員が行っている議会だより原稿要約編集業務を、同機能を活用することで効率化を図る取り組みを行います。

### ⑤ 行政事務における市民対応履歴自動テキスト化の検証

取手市（取手市議会）は、株式会社アドバンスト・メディアが有する音声認識技術等を用いて、相談・面談等の文字化機能を検証し、市民相談・面談対応履歴の自動テキストシステムを用いて、より迅速かつ正確な行政事務の効率化に向けた取り組みを行います。

### ⑥ 上記システム開発・品質向上に向けた会議を開催

株式会社アドバンスト・メディア及び取手市（取手市議会）は、上記の検証により得たシステムに関する情報共有・意見交換を目的とした会議を実施します。

### ⑦ 協定期間

本協定による協定期間は、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間とします。